

令和6年度 第1回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和6年6月14日（金）13：30～14：15

場所：橋南公民館 会議室3

出席者：下平会長、村松委員、岩戸委員、胡桃澤委員、山崎委員、今村委員、嵩田委員、和田委員、森下委員、今村委員、熊谷委員
高田副市長（行財政改革推進本部長）、清水総務部長、佐々木財政課長、澤柳企画課長

欠席者：畠中委員、市瀬委員、松村委員、篠田委員

1 開会

2 任命書交付

3 あいさつ

（下平会長）

本日はお忙しい中ご出席を賜り感謝申し上げます。また、本日任命をさせていただいた山崎委員と今村委員について、残りの任期は少ないが委員会への運営にご協力いただきたい。

今年は梅雨が遅く、エルニーニョ現象からラニーニャ現象に変わりつつあるが、今後気象状況がどう変わるか不明瞭な状況である。また、国際情勢は依然としてロシアとウクライナ、イスラエルとハマスの戦闘が続いており終息の気配がなかなかみえてこない状態である。その中で私達は「国の営みよりも人の常識、平和を望む全ての人ができることは、戦争は殺人、人を殺すのではなく戦争は嫌だと表明していくこと」がこれからの私達にできることではないかと感じている。

国政に関しては相変わらず政治資金規正法で迷走をしており、なかなか自浄作用が働いていない状態である。政治不信はますます募るばかりである。同時に、今月始まった定額減税も非常に評判が悪く、企業や自治体に変な負担をかけている状況であり、先が見えない状況である。そんな状況の中で私は定額減税よりも消費減税をして経済を回していくシステムに変えていかなければ生活は豊かにならないと感じている。

さて、本日は飯田市の行財政改革に関する重要事項の調査・審議である。飯田市行財政改革大綱も4年目に入ったところであり、最終年を迎える。この大綱については本委員会としても策定し関わってきた計画であるため、着実に推進されるよう注視していく必要がある。また、この取り組みを推進していく上で内容を理解し、意見を出すことが重要である。日頃から行財政改革に関することに関心を持ち、意識を高くする必要があると感じる。大綱の取組に関しては様々な分野に及んでおり、複雑である。ひとつに業務の見直しを掲げ、そして民間活力を活用する制度の導入、運用も取組の目標になっている。具体的には指定管理者制度の運用である。適正に行われているのか、効果のある取組になっているのか等、評価を行うにあたって基本的な知識を身に付けている必要がある。本日は制度の基本的な内容を理解する機会として会議を開催している。事務局からの説明を受け、正しい評価をしていただくことをお願い申し上げ、会長のあいさつとする。

（高田副市長）

本日は、公私共にお忙しい中、また、お暑い中ご出席を賜り感謝申し上げます。

2名の方には本日任命書を交付させていただいた。任期満了までの間どうぞよろしくお願ひしたい。

会長から行財政改革推進委員の役割、指定管理者制度の評価についての話があったが、本日はお話があったように指定管理者制度についてご理解をいただきたく開催した。指定管理者制度というのは市が設置している施設の中で民間の活力を使用するべく指定管理者制度を導入し、それに基づいて行政サービスを提供することである。それを適用している施設に対して私どもが評価している内容に関して、評価をしていただくことであるのでご理解をいただきたい。

今年度の委員会の皆様にはもう1点お願いがある。先ほど委員長から行財政改革大綱の話があったが、現在は令和3年度から4年間の計画期間であり、大綱とそれに基づく実行計画で事業の取組を進めている。今年度が最終年度であり、来年度から新たな4年間の大綱を策定する年にあたる。皆様からはそれぞれの立場から大綱の策定に向けてご意見をいただきたい。次回以降の会議では大綱の原案を見ていただきながら是非ご意見を賜りたいのでよろしく申し上げる。

振り返ると新型コロナウイルス等の新しい感染症、国際紛争に端を発しての物価高騰、リニア開通の遅れ等、様々な面で市民生活、経済活動、行政に大きな影響を及ぼす変化が起きている。そうした変化に機敏に対応していくべく、行財政改革は避けては通れないため、そういった点を踏まえて次回以降の会議にご出席いただき、意見を賜ることをお願い申し上げ、あいさつとする。

4 確認事項

(1) 指定管理者制度について【佐々木財政課長説明】

- ・指定管理者制度を導入する施設の評価について 資料1
- ・指定管理者制度導入施設一覧 資料2
- ・指定管理者制度に関するガイドライン 資料3
- ・指定管理者制度に関するガイドライン見直し後の運用の概要 資料4

(2) 指定管理者制度を導入する施設の現地視察について

令和6年度末に指定管理者協定が終了する施設の評価を踏まえた現地視察

ア 飯田市21世紀環境共生型モデル住宅・りんご並木のエコハウス

イ 飯田市立動物園

ウ 平成記念飯田子どもの森公園

(今村委員)

現地視察では説明者が評価項目に沿って説明してくれるのか。ただ見て回れば良いのか。

(岩崎行革・施設マネジメント係長)

施設には市の職員、担当の職員、または指定管理者がおり、施設の概要を説明するので質問があれば気軽にいただきたい。

5 今後のスケジュール【岩崎行革・施設マネジメント係長】

今年度は全6回の委員会を予定している。例年3回であるが、今年度は先ほど話があったように大綱の策定の年度にあたるため、大綱等の策定手続きを踏まえて年6回の予定である。

- ・第1・2回目(令和6年7月中旬までに開催)

指定管理者制度の運用についての協議

- ・第2～4回目(令和6年7月～9月上旬までに開催予定)

新たな飯田市行財政改革大綱の策定手続き

- ・第5・6回目(令和6年11月下旬～令和7年3月頃までに開催予定)

大綱に基づく実行計画について

開催時期と内容に関しては現段階の予定であるので、策定手続きの中で見直す可能性もあるので承

知いただきたい。

6 その他 【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

委員報酬及び旅費について

- ・個人番号の提供書をご記入いただき、個人番号カードの写しを添付して提出してください（すでに市へ提出していただいている場合は不要です）。
- ・会議開催会場まで2km以上の距離がある場合は旅費が支給されますので、「飯田市行財政改革推進委員交通手段調査表」をご記入いただき、市へ提出してください（新規の委員及び変更がある委員に限る）。
- ・市営本町駐車場をご利用の方は2時間を超えると料金が発生しますが、事務局でサービス券をお渡ししますので、解散する際にお声がけください。

7 閉会

（高田副市長）

本日は、短い時間の中で一方的な説明であったが、貴重な時間を使い、指定管理者制度の理解を深めるための説明をお聞きいただき、感謝申し上げます。

この後の現地視察も踏まえ、次回は具体的に各施設の評価をいただく。お忙しいと思うが、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

1点お願ひである。長年お世話になった岩戸さんが交代ということで、最後にご挨拶いただきたい。（岩戸委員）

下平委員長をはじめ、各委員の皆様並びに高田副市長をはじめとする市の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。3年間お世話になったが、信用金庫の立場として委員に任命していただき「地域社会の発展に貢献する」という理念の達成のために非常に有意義な任務を仰せつかることができ、改めて感謝を申し上げます。今後リニアや三遠南信が開通し、我々の子や孫が幸せ暮らすためにはどうしたら良いのかは待ったなしで考えていただきたい。財源をどう動かすか、人の確保において行財政改革は必要不可欠であると感じている。しっかり評価をし、行政の運営に活かすことが重要だと考える。

今後の皆様のご活躍、行政の皆様が委員の意見を踏まえて実働していただくことを祈願し、あいさつとさせていただきます。